

金融支援事例（経営発達支援資金）

会議所名：津商工会議所

【企業概要】

事業所名：諏訪置工業株式会社
業種：置製造業・内装工事業
従業員数：0人（内パート0名）
支援内容：自社工場の建替えに対する事業計画作成

【支援に至った背景～経緯】

100年以上続く老舗の置製造業として、持続的な発展していくために、無理のない設備投資を望んでいた。工場の老朽化が進み、地震により倒壊する恐れもあり、また台風などの大雨が降ると浸水するほど、BCPの観点からも計画的な設備更新が必要であった。

【支援の経過】

平成29年9月 今後の事業計画を三重県版経営向上計画に落とし込むよう提案。経営支援員とともに作成支援を行った。

ショールームを兼ね備えた工場を建設するため多額の資金が必要であった。また、無理な投資計画にならないよう長期的な資金調達が必要であったことから経営発達支援資金での資金調達を提案。

新工場に移行することから老朽化した生産設備の計画的更新も課題であったことから小規模事業経営改善資金による資金調達を提案した。

【支援のポイント】

100年以上つづく老舗企業であり、景気動向の変動も考慮しながら、多額な投資計画はリスクが高いと考え、低利で長期的な返済が可能な制度融資が必要であると判断した。

【支援の効果・成果】

三重県版経営向上計画ステップ2を取得したことで、実施計画が具体化できた。経営発達支援資金による工場建設資金の調達が20年の長期返済が可能となったことで、生産性設備の導入を小規模事業者経営改善資金を併せて利用することが可能となった。結果的に調達コストや無理な返済計画をすることなく設備導入を行うことが出来た。



【支援企業の声】

景気動向が不透明な中で、長期返済が可能な、経営発達支援資金を提案していただき、活用できたことは経営の安定を図る上で本当によかった。